

經濟週報

青島日本商業會議所

中華郵政特准掛號
認爲新聞紙類
大正十四年八月廿四日發行
每週月曜日

本號記事

- 隴海鐵路東路狀況調查(其十)
- 支那の藍に就て(其三)
- 膠濟鐵路貨物改正と其影響
- 貨物設定と鴉片
- 青島鹽輸出交渉解決
- 銀塊並爲替(自八月十日十五日止)
- 商況(同)
- 日本向貨物狀況

資料

隴海鐵路東路調查狀況

第一節 山東

第一款 概況 山東は山西と共に雲台山の余脉孫家山を狹みて老窩灣に臨み東北方に近く西連島を望む墟溝より東方七〇の地點に位するものとす

墟溝より東行五里山西關は沿道に僅少の平坦耕地を有する外更に雲台山の傾斜面を開墾して小麦、玉蜀黍、落花生、豆類陸稻の栽培行はれ耕地約四十萬坪を有す其の形狀恰かも本邦山間の耕地に彷彿たり山西は山東岬(孫家山)の西麓にありて孫家を狹みて山東に對峙するの地なるも當孫家山は雲台山の餘脉再起して海に迫るの地海拔五百呎あり只雲台山との間に二里に亘る緩き一脈の谷を存し僅かに人の通行を許すのみ

延長豫定線は即ち此地を進みて山東に入るものとす山東の地は山西に比し更に平坦部少く階段式耕地すら五萬坪に満たず

第二款 生業及山東の將來 前述の如く其の廣範ならざる地に居をさせる人口約七百の住民は農を以て生計を營む能わざるは當然にして彼等は皆漁業を以て主業となし側ら自家の食料を得る程度を以て農作を爲すものにして小麦、豆類、落花生、玉蜀黍、陸稻の栽培せらるゝ事山西

地方に均し

漁獲物は總て墟溝に於て賣却し前述の如く墟溝漁業收入の一部を爲すものなり

蓋し山東の地たるや前述の如く何等特筆すべき産物も無く且つ將來築港豫定線布設さるゝとするも當地は其區域狹隘なる關係上通過地たるに止まるべく老窩の築港も其寄與する所實に僅少なるものに過ぎざるべく其將來に多大の囑望を爲すに足らざるものと思ふ

第二節 老窩

山東の東方更に八里雲台山麓に位し近く東連島に面し戸數約五十を有する一小部落は即ち隴海鐵路附屬築港豫定地として著はれたる老窩なり

山東より東行一里にして歩道全く絶え雲台山は急傾斜を以て海に望み數丈の絶壁をなす老窩は當山麓の東方に在りて望むを得ず只老窩に至る二山道南東に分れて山間に隱見するを認むるのみ

本地點に立ち道を南すれば老窩に達する巨離近しと雖も急峻なる山頂を越ゆるの必要あり若し又道を東すれば勾配緩なるも山復を廻る九十折道にして行程殆んど前者に倍するの憾あり且つ兩者平坦道に非ざるを以て其通行容易ならず辛ふして徒歩老窩に達し得るのみ故に兩地間住民は多く海水干潮時を俟ちて海岸沙灘部を迂回するものとす

而して一度老窩の地に入らんか平坦部無しと雖も雲台山麓の傾斜緩慢にして海に走り階段式耕地存在するを認む然れども之を山東に比すれば土地更に高く其沙灘部と約一丈の差違ありて斷崖を爲す豫定線終點の標識は即ち斷崖の尖端部に存す要するに老窩の地たるや築港計劃後地價最低一畝二百元を稱へ居るも現在に於ては何等價值なき一寒村にして其將來の盛衰は一に係りて築港の成否に存す

隴海鐵路の延長線たる老窩の終點標識よ

り墟溝迄三十軒間の經路を尋ねるに墟溝を發して東方山西に至る五里は平坦部を求めて軌道の布設を爲し得るも山西以東は孫家山溪谷の通過を第一歩とし次て東方更に急峻なる雲台山を通過するの必要あり今山東より終點標識間を遮る山麓は之を隧道になすに非ざれば通過し難く而も之を隧道とするは支那鐵道建設中未曾有の大工事たるべく到底不可能なる所なり今巷間傳ふる所の如く斷崖の下沙灘を埋立て以て軌道を布設せんとせば前記隧道工事に比し其作業容易ならんと是亦難工事の一たるべく築港延長線の完成期は遂に其築港完成期と共に俄に測斷し難き所とす

第四章 海州古木間

第一節 大埠

第一款 概況 大埠は海州の西方四十里阿湖の東方五十八里の地點に位し將來徐海鐵路の停車場たるの地なり彼の徐海鐵路開通後に於ても相當の繁榮を見るならむも現在に於ては戸數萬に充たざる小部落に過ぎす住民の大部分は農家にして更に之等に對する日用品供給を目的と爲す小商人並に豆餅製造を目的とする二三油房の存在するのみなり

第二款 生業 江蘇北部平原に位する當地方は農業を以て其生命となすや勿論なるも惜むらくは土地肥沃ならず且つ例年降雨量多からずして早魃の害を蒙むる事尠なからざるものあり農業品の主なるものは小麦、玉蜀黍、黃豆、落花生等にして黃豆栽培は豆粕の製造と共に益々増加せんとする傾向を有す前記豆油、豆餅の製造は小部落なるにも拘はらず盛なるものあり公泰恒油房の如きは重油「エンジン」二十五馬力の新式機械を以て搾油に従事しつゝあり、當地方に於ける之等豆油、豆餅は悉く新浦に移出され新浦産品と共に遠く江南地方に販出さるゝものとす

第三款 交通 當地は所謂皖北平原の地に位するを以て一望視界を遮ざる可き丘陵すらなく坦々たる大道は四方に走るものとす然れ共現在人智未だ進歩せざる當地方は交通機關又見るべきもの無く遠く海州、阿湖地方への往來は驢馬、小車稀に馬車を利用し得るのみなり、彼の地産出の農産品は馬背に或は小車に積載して運搬され近距離運搬は凡て牛車によるものとす

本年七月を以て完成すべき徐海鐵路の開通は實に當地方に格段の發達を來さすべし

第二節 阿湖

第一款 概況 大埠の西方陸路五十八里古木の東方三十里の地點に存する小部落にして戸數五百餘戸隴海鐵路豫定驛の一なり、その地方住民の農を以て立つこと大埠と等しく且つ灌漑の便悪しく早魃の害あること又大埠と異ならず

第二款 生業 農業を主とする當地方はその農産品として小麦は勿論高粱、玉蜀黍、粟、落花生、黃豆の産多き事遙かに大埠を凌駕し且つ當地方は耕牛の飼育盛にして牛皮、牛骨の産出又相當にあり豆油、豆餅の製造又進歩し重油エンジンによる製造家二家あり各二十馬力の動力を使用せり、而して之等の製産物は皆大埠と等しく悉く新浦に移出せらるゝものなり

第三款 交通 その交通機關として特筆すべきものなく大埠と大同小異あるのみ只牛車の使用は一段と盛なり、白寶山將軍の架設に係る私設軍用電話は此の地を經過して新安鎮に至る

第三節 古木

阿湖の西方三十里新安鎮の東方約四十里に位し戸數約百人口約四百を有する一小部落にして住民は總て農を以て本業とす隴海鐵路完成の曉に於ては相當發展を見

發行所 青島日本商業會議所

るならんも現在にては何等特筆すべきものなし、交通状況亦前者に同じきものとす

第五章 新安鎮

第一節 概況

古木の西方四十里三叉河の東方八十里に位し山東より來れる涑河は當地の東方を流れて江蘇省に入り遠く東海に注ぎ更に山東、江蘇省界を北南に走る一山脉は此の地に於て終るものとす

戸數八百人口約四千を有する新安鎮は海州、徐州の中間に位し古來農産物の地方的集散地にして又移入雜貨の集散地にして更に當地は地形上江蘇より山東に入る要路の一に當り白寶山將軍の一營又此地に駐屯し居り將軍の軍用電話は此の地を以て終點とす即ち當地は經濟上軍事上の一重要地たるに鑑み隴海鐵路は當地に第一停車場を設置するに決定せり

第二節 生業

當地住民の大部分が農業を以て本業とせること阿湖、大埠と等しきも當地は山東省郊城方面との交通早くより開けし干係上徐海間、中央部地方に於ける農産物を集散すると共に山東南部地方の各種産物を集散し地方有数の市場たるものあり而して地方集散の農産品の主なるものは花生、黃豆、小麥、玉蜀黍等にして豆油豆餅の製造又盛なり、今その主なる製造家に就き見るに

恒利油房 中國式機械

豆餅一ヶ年 三萬枚
豆油同 九萬斤

大生油房 日本製

豆餅一ヶ年 三萬枚
豆油同 九萬斤

天長油房 中國式機械

豆餅一ヶ年 一万二千枚
豆油同 三萬五千斤

等あり當地豆餅の年産額三十萬枚にしてその消費地を示せば

該地消費 十分ノ一
清口行キ 十分ノ三
海州行キ 十分ノ六

尙ほ當地方は此の外生油、豆油、高粱酒の製造稍々盛にして製品の大部分は該地方に使用消費するものなるも清江浦、海州、青口への移出量又僅少なからず、次に小麥、玉蜀黍、高粱等の産出を見るに當地糟坊酒釀造用を除く外尙ほ

第三節 交通

運河經由清江行キ 年六萬石
山東行キ 年三萬石
海州行キ 年二萬石

當地は皖北平野の山東省に接するの地にして土地一般に丘陵性高地にて所々に馬車の往來不便なる所ありてその主要交通機關は小車及驢馬なりとす

然れ共當地海州間は之等台地を通過することなく稍々南方に迂回するときは通路平坦にして馬車、牛車の通行易々たり、白寶山將軍の軍用自動車は時々兩地間に於ける旅客の運搬をなし居るも沿道自動車交通上何等の困難を見ざるものとす

支那の藍に就て

(其二)

漢口市場に於ける藍の品質は次の如く分る、樂平貨は品質最上にして價額最も高價に次は黃岡及その附近に産せらるる巴河貨、涇水及て裏河沿岸に産せらるる府河貨の如く黃岡貨は最も安價である江西省樂平附近に産せらるる樂平貨を除き其の他は悉く湖北省に産せられる、漢口には十戸以上の支那産藍取扱者又は代理店あり河街に店を有する劉春茂、大夾街に店を有する王春森等最も重なるものにして歐洲戰爭中漢口に於て取引せられたる支

那産藍の總額は年約一〇、〇〇〇担と見積られ漢口産は武漢地方にのみ消費せられる、人造藍は目下大なる需要あり漢口に輸入せらるるもの、大部が沙市宜昌、岳州その他諸港に再輸出せらるるのみならず近村に消費せらるるものも又相當數に上つて居る、昨年一月より十一月末迄に漢口に輸入せられた七八、〇〇〇担の中七二、〇〇〇担は上海より再輸出せられたものにしてその重なる來源は獨逸なるも米國及び日本の人造藍も又市場に現れる、輸入藍は普通百司洋行、謙信洋行及小川洋行等の卸商より地方取扱者に卸し彼等は更に他地方の取扱者に賣渡すものにして賣買は總て現物取引なりとす

棉花栽培が利益多く市況活況を呈すると共に湖北省の藍栽培地は次第に棉田に化しつゝあり、支那産藍の價額低廉にしてその色持ち良好なるにも拘らず支那の染業者が餘り是を使用せざるは單に人造藍の使用が勞力を節し結局染色費用の廉なる結果に外ならぬ、故に若し支那産藍の使用法が簡略となるならば輸入品と競争し再び以前の如き繁盛を呈するに到るであらう、青色衣服が支那に於て益々着用せられ従つて藍の消費益々大なると共に本問題は甚だ重要なものである

浙江省の藍には山藍及び紛藍の二種あり、前者は後者よりも青色々素の含有量多く是等は又圓葉、尖葉又は紫梗及び綠梗等の各種に分る、藍栽培には二の方法あり一は播種他は插種である、浙江省には山藍と稍せらるる種類の方多く特に金華、衢州、嚴州及び處州に多く産せられ寧波、紹興、温州及び台州等是に次げり氣候の關係上處州に産するものは品質最良にして浙江省の東部地方に於ては藍が最も豊なる物産である

清朝の當初に至りては藍業は甚だ盛となり一年の平均産額は約五〇〇、〇〇〇担價額にして約五、〇〇〇、〇〇〇元

上り農夫自ら製して支那内地々方に送るため竹籃の中に入れしが一九〇〇年以後には或種類の獨逸藍が鐵又は木の箱に入り支那に輸入され始めた、一九一四年より數年前浙江省の收穫が甚だ不良の事があったがその結果藍の價額著しく騰貴し外商は此の機に乗じて獨逸藍の價額を引下げ同時に自己の仲買人を選定したのでその結果獨逸の藍業は大いに盛大に赴き反對に支那藍は大いに衰微するに到つた、そのため今日の年産額見積は一〇、〇〇〇担に過ぎない、藍製造業者は多く山中に居住して平地に淺い池を掘り各地に三人乃至二十人の製造業者がある、省立改良靛青模範工廠は衢州に在つて醱酵製造場、沸化製造場等に分れたるも最初の二ヶ年間に大なる損失を來し目下操業を中止して居る。浙江省の永康には三良公司として知られた藍工場あり同工場は民營にして二十八の醱酵池と二の沈澱池がある

滿洲に於ける産地は約二ヶ處の主要産地に分れ一は奉天の東北則ち主として長平山脈あり松花江に到る一帯地にして西豊、西安、豊東、海龍、柳河、輝南、磐石、樺甸、雙陽、舒蘭及び伊通の諸地方を含み他は遼河の西部及び京奉沿線一帯地に於て錦州が産地の中心地である、産地に就ては何等信すべき統計なきも各地に行はれる取引高より判じ農商部より發表せる次の推算額は稍真に近いものである

西豊	二、〇〇〇、〇〇〇斤
東豊	二、〇〇〇、〇〇〇斤
柳河	六〇、〇〇〇斤
朝陽	七〇、〇〇〇斤
磐石	六〇、〇〇〇斤
錦縣及興城	九〇〇、〇〇〇斤
西安	一、五〇〇、〇〇〇斤
山城	五〇〇、〇〇〇斤
海龍	九〇〇、〇〇〇斤

輝南 二一〇、〇〇〇斤
樺甸、舒蘭、雙陽 一、〇〇〇、〇〇〇斤
合計 九、〇〇〇、〇〇〇斤

借天然藍栽培に最も適應せる土壤は有機質の土壤にして且つ水系に近きを要する、又その成育期に於ては温和の氣候が必要で滿洲に於ける色素含有量は三割乃至六割二分である

江西省に於ては歐洲戰爭の影響にて藍産は大いに發達し九江より汽船にて約三十時間にて達し得る樂平が最大産地にして最も有名である、安徽、浙江省界に近き地方に於ける最も主なる農業と藍栽培が該地方に於ける最も主なる農業となり一九二〇年には一畝の土地より約十元の價額を有する收穫ありしに一九一七年より一八八一年にかけては同收穫にて六十元の収入ありしとゆふ、二十年以前に於ては二百斤が僅か二、三元の價額なりしに歐戰當時は同一量にて約十倍の二十元に騰貴したるものにして省内年産額は約八〇〇〇担と見積られて居る、樂平藍は年三回の收穫あり第一回は稍明青色なるも第二、三回は暗青色を帯び收穫せるものはよく揃へて日向で上部の枝及び葉を切り取つて束とし大きな樽に入れて葉を水中に沈めるために上部に十字の棒を入れ置き、約四、五時間にてこの束を取り出して水を一晚中放つて置き翌日よく粉砕した石灰を徐々にその水に加へ一日中樽の内容物を攪拌する、この作業は川端に於てなすものにして第一の樽の中のもの數個のものに移し内容物が明に沈澱する迄石灰を加へる、方法は極めて簡略なるも石灰と水とが充分混する迄攪拌する必要あるため仕事は甚だ困難である

南の各省にも又産せられる、支那總産額は次第に減少の傾向にあるも猶相當多額に上つてゐる、然し乍らその栽培地が比較的邊鄙の地なるご散布の方法多種多様なため國內總産額を推算する事さへ困難である。(完)

時事

膠濟貨捐改正と

其影響

今回山東督軍兼省長に任命せられたる張宗昌氏は部下奉天兵の軍費捻出の一策として省内一般の課税に増額を行つて以て軍費に充當せん事を計劃し先づ手始めとして津浦線貨捐の改訂を断行せるか途に八月五日に於て山東膠濟鐵路商貨統捐總局修訂章程を制定し其發布後僅かに五日の期間を過ぎたる八月十一日に於て断然其實施を決定せり今回の貨捐増率算定の根據とする處を尋ねれば従來年額五十萬元の收入のみにては到底山東省駐屯軍資を支辨するの餘猶なきを以て之を改定して二百萬元の軍資を調達せんとするにあり改正貨捐は此趣旨に依て決定せられたるものにして従來貨捐科率の約四倍に相當し山東省内の商民をして膽を寒からしめたり今之を各貨物の上に就て見るに最も重税なるは運賃の八割にして牛、馬、繭糸、綿糸、煙草、洋酒此外十種類に亘れり運賃の七割を課税されたるは棉實、棉花、綿織品其他細毛織品を數へ左記各重要品は何れも六割の重税を課せられたり

豆油 花生油 麥稈真田 各種油類
牛油 肉類 桐木 電料 洋燈 燐寸
燐寸材料 洋燭 車輛 酒精 頭髮
此外は運賃の五割、四、三、二、一、五一、

一、〇六等に區別せらるるも該表に明記せられざる貨物は一律に六割の課税を徵收せらるるものなり

前表に依て見るに青島港の重要輸出品たる綿糸牛肉は八割鶏卵桐材は六割の高率となりたる事實は青島在住商民の不利を誘致し商況不振に陥るべきは當然にして結局從來の繁榮を他港に奪はるゝに至るべし殊に綿糸の如きは銀塊及び爲替の關係上他港に比すれば全く不利の地位に在りて商況著しく不振に推移せる今日運賃八割の重税を設定せらるる事は最も大なる苦痛にして沿線方面は相場高に災され賣行不良に陥るべきは見易き道理にして今回の貨捐設定は青島市民に致命的打撃を與へたるものと云ふべし

一省の統治に任ずる督辦は省財政管理の特權を利用して商民を苦しむるは決して策の得たるものに非ず今回の如き増税の計劃に對して先づ實施に先ちて商民の負担輕重を精査し苟くも商工業上に障害を及ぼさざる範圍に於て之を決定せされは地方の疲弊を免かるべからず膠濟鐵路は山東に於ける唯一の交通機關にして商業上の生命とする所輸入貨物並山東物産の輸送は一に此鐵路に依るものにして其運賃の如何附加税の如何は直ちに商民の事業に影響する事確實にして商民は高率なる貨捐の設定に遇ひて或は物産搬出の逕路を他に需むるの止を得ざるに至るべし、之か爲め從來濟南市場を經由して青島に出廻りたる棉花其他の物産は或は天津に出で或は浦口に送られて濟南集貨の減少を來すのみならず桐材鶏卵等も膠濟津浦の高率なる貨捐に耐へず天津を選ぶに至るへし斯くして膠濟鐵路は自ら輸送貨の激減を招き青島貿易は漸次に萎縮し省財政廳の收入も亦衰ふるに至るへし其間の事情は頗る機微なる關係にあるものなれば其衝に當るものは須らく這間の情勢に通したるものなる事を要す山東在住

の商工業者は前年の貨捐設定により尠なからざる痛手を蒙りたる事は之を統計の上より見るも明らかにして牛肉、桐材、鶏卵等は著しく不況に陥りたるか其傷痍未だ衰へざるに八月十一日に至り現行貨捐の四倍に相當する重率を課せられたるは濟南、青島両市場の商民に對し致命的打撃にして結局山東の發展を脅威する外何等の効果を認むる能わす之か爲め却て鐵路貨物の減少を見るに至らば省財政廳は豫定の收入を得られざるべく再び他に財源を探究せざるべからざるに陥らん之れ一に督辦の威嚴を傷くると共に漸く擡頭し來りたる青島貿易を蹂躪するものにして一顧の價たも認むる能わさるものなり之を未前に防止せんとし支那總商會に於ては貨捐に代るに膠濟鐵路客車運賃を改正し各等共に二割の値上案を提出し只膠山東市場の衰退を防止せんと其建議を總辦を通じて張督辦に提出せるか日本商業會議所に於ても英米領事と協定の結果同一歩調を取り山東物産の發達及貿易の増進に努力する事を決し過般來當他の各輸出入同業組合を叫合し數回に亘りて協議せり

左に今回改訂せられたる膠濟貨捐の新率と舊率を比較し大正十三年中の輸送貨に依て其税額を算定すれば大正十三年中の膠濟鐵路貨物數量は二百七十九萬九千九百六十七にして其運賃六百七十七萬八千九百四十四元にて達し之を舊率にて計算すれば其貨捐收入額は六十六萬七千三百五十九元なるか新率によるときは百九十二萬六千四百一十一元と算するものなり

大正十三年中膠濟鐵路貨物輸送數量運賃と新舊貨捐率比較

Table with columns for goods (大豆, 餅, etc.), old rates, and new rates.

Table listing various goods and their corresponding rates.

貨捐設定と鶏卵

青島輸出鶏卵は其九〇%は日本仕向にして日本の鶏卵市況の如何は當地輸出鶏卵の盛衰を卜するに足るものにして其關係益密接となり遂に民國十一年度には三億六千二百七十三萬個の輸出を見るに至りしか民國十三年九月果膠濟鐵路貨捐の設定に遇ひて市況遽かに悪化し内地相場と不出合の姿となり上海天津卵に押されて著しく減退を示したり之を統計に見るときは十三年上半年に於ける輸出高は一億三千三百一十萬個にして前年に劣らざる盛況を示したるも九月下旬膠濟貨捐實施後の市況は全く振はす輸出月額千五百個より千四百萬個を上下するに過ぎず之を貨捐實施の前後に分割して其盛衰を明かにすれば一昨年九月より八月迄一ヶ年間の輸出數量は七十萬四千七百八十八個に達せしか同十三年九月貨捐實施後の狀況を見るに其減少著しく以降十四年八月に至る一ヶ年間に僅かに四十九萬九千六百五十五箱の輸出を見たるに過ぎず實に二十萬五千三百三十三箱の減退にして其價格は銀百四十三萬五千九百三十一元にて達せり其結果によりて考ふれば前年貨捐の設定が如何に甚大なる打撃を鶏卵輸出貿易のみに與へたるかを相象し得らるへし更に今回改訂せられたる貨捐率に依れば運賃六割の重税となり従來貨捐率を越ゆる事二十%にして前年貨捐實施後の業績に顧み山東鶏卵輸出の前途に對し悲觀せざるを得ざる状態に陥りたり今回改訂せられたる新税率により鶏卵千個當りの貨捐率を算定すれば其額銀四十二元七角にして之を三聯單使用銀十四元四角に比較すれば實に二十三仙の高率なるを以て強て改正率によりて貨捐を徵收せんとする時は鶏卵輸出業者は悉く三聯單を利用するに至るべく斯くの如きは決して省收入増加の方法に非ざるべし

前述の如く貨捐實施後の當地市況は頗る硬化し來りたる結果は内地市況に影響して頗る不況に陥りたる矢先に於て今回再び貨捐の改正に遭遇し運賃六割の重税を課せられたるは當地鶏卵輸出業者に對し殆んど致命的打撃を與へたるものにして津浦沿線の鶏卵の如きは津浦貨捐十九元六厘膠濟貨捐二十三元一厘合計四十二元七角の高率を支拂ひて青島港に搬出せんよりは津浦貨捐の安價なるを利用し天津港に出るを有利とすべく徐州以北の津浦沿線貨物は天津に出るを正常とし理國以南は爰を分界線として浦口に

